人を、想う力。街を、想う力。
三菱地所

2019年12月2日

報道関係各位

三菱地所株式会社

有楽町エリア再構築に向けた先導プロジェクト

有楽町「Micro STARs Dev.」始動

①様々な人・アイディア・文化・食に出逢える多機能型市場「有楽町『micro FOOD & IDEA MARKET』」12月3日開業

②個人単位のアイディアを形にするワーキングコミュニティ「有楽町『SAAI』Wonder Working Community」12月4日会員募集開始

三菱地所株式会社は、有楽町エリア再構築に向けた先導プロジェクトとして有楽町「Micro STARs Dev.（マイクロ　スターズ　ディベロップメント）」を本日2019年12月2日（月）に始動しました。具体的には、本プロジェクトにおける活動の中心拠点として、①様々な人・アイディア・文化・食に出逢える多機能型市場「有楽町『micro FOOD & IDEA MARKET』（以下、「micro FOOD & IDEA MARKET」)」を12月3日（火）に開業するほか、②個人単位のアイディアを形にするワーキングコミュニティ「有楽町『SAAI』Wonder Working Community（以下、「SAAI」)」の会員募集を12月4日（水）に開始します（開業は2020年2月中旬予定)。

有楽町「Micro STARs Dev.」プロジェクトの全体像

アイディアを おもいつき、カタチに	アイディアが 試され、磨かれる	アイディアが 実装され、羽ばたく
SAAI Wonder Working Community （新有楽町ビル10F）	micro FOOD&IDEA MARKET （有楽町ビル1F）	大丸有　日本へ　世界へ

有楽町生まれの人やモノゴトが、有楽町で磨かれ、
大手町・丸の内・有楽町に、そして日本全国・世界へ広がっていく

個性豊かなプロデューサー陣との協業をはじめとする、新しい外部連携の仕組み

当社は、2002年の丸ビル建替を端緒とする「丸の内再構築」に取り組み、時代の変化を先取りして丸の内エリアや大手町エリアを中心に先進的な街づくりを推進してまいりました。また、当社グループでは、大丸有エリア全体を「OPEN INNOVATION FIELD」（人・企業が可能性を感じ、進化できる街）と位置づけ、“クリエイティブな人材・企業が目指す、Wisdom（知恵）の拠点を創る”取り組みを続けてまいりました。

有楽町エリアは日本におけるビジネスの中心地でありながら、商業・MICE・文化・芸術等の多様な機能を併せ持ち、丸の内・銀座・日比谷・皇居外苑に囲まれて多くの個性的な人々が集まるのに適した立地特性があります。そのような特性を持つ有楽町エリアの再構築に向けては、クリエイティブな人材が集まり、活躍する場づくり・仕組みづくりを更に模索することが必要と考え、「Micro STARs Dev.」の始動に至りました。

本プロジェクトでは、これからの有楽町を、人やアイディアが更に磨かれる街へと進化させるべく、人の活動を街づくりの中心に据え、見出した様々な人・アイディア・コト・モノを cultivate（交わり・耕し・育み・磨く）し、次の時代を担うスターが生まれる“仕組み”を有楽町で作り上げ、エリア内の既存の取り組みと掛け合わせることによる相乗効果を目指しています。

当社は、本プロジェクトから生まれた新しい仕組みやソフト的な取り組み等を、2020年代以降の有楽町エリア再構築のハード・ソフト両面に繋げる「新しい街づくりモデル」にチャレンジしていきます。

■ 1. 有楽町「Micro STARs Dev.」について

有楽町「Micro STARs Dev.」とは、「街の輝きは人がつくる」をコンセプトに多彩な人材との交流や協業によって見出した、まだ世の中で価値が定まっていない（＝micro な）人・アイディア・コト・モノが、有楽町という街を舞台に cultivate（交わり・耕し・育み・磨く）され、大手町・丸の内・有楽町へ、そしてゆくゆくは日本全国・世界へ広がっていくような“仕組み”を作り上げることを目指すプロジェクトです。
ホームページ： https://yurakucho-msd.com

【有楽町「Micro STARs Dev.」の“仕組み”について】

本プロジェクトでは、会員制ワーキングコミュニティ「SAAI」と、誰もが訪れることができる丸の内仲通り沿いの店舗「micro FOOD & IDEA MARKET」の場所特性を使い分けています。多彩な外部プロデューサーとの協業によって「SAAI」で見出された新しい人・アイディア・コト・モノを「micro（＝まだ価値の定まらないものを実験的に)」に世の中に展開し、街からの評価を受けることで、更に磨かれ、次の時代を担うスターとなっていく一気通貫の“仕組み”づくりにチャレンジします。

【プロデューサーについて】

・プロジェクトを推進していくプロデューサーとして、丸の内朝大学※1 等の実績から地域プロデュースや企業ブランディングにおける豊富なノウハウを有する株式会社 umari 代表取締役　古田　秘馬氏を中心に、様々なジャンルから多彩な計 16 名のプロデューサー陣が参画します。

・参画プロデューサーは、当社と共にまだ世の中で価値が定まっていない（＝micro な）人・アイディア・コト・モノを見出すことに加え、プロデューサー同士のコラボレーションや、有楽町で働く人、訪れる人達と共に、プロデューサー自身が「やってみたいこと」に次々と取り組んでいきます。

・有楽町では、プロデューサー陣が街を舞台に牽引するプロジェクトの他、誰もが自由にプロジェクトを表現できる開かれた街づくりを推進していきます。

＜プロデューサー陣＞　＊古田氏以降五十音順

株式会社 umari 代表取締役
プロジェクトデザイナー
古田　秘馬氏

株式会社なか道 / 緑泉寺
代表取締役 / 住職
青江　覚峰氏

評論家／批評誌
「PLANETS」編集長
宇野　常寛氏

株式会社ハレバレ
代表取締役
岡田　一男氏

有限会社ゑびや
株式会社 EBILAB 代表取締役社長
小田島　春樹氏

けん玉パフォーマー/人狼ルーム代表
遊びプロデューサー
児玉　健氏

Rhizomatiks Architecture
ディレクター
齋藤　精一氏

株式会社 sotokoto online
代表取締役/『ソトコト』編集長
指出　一正氏

株式会社ワントゥーテン
代表取締役社長
澤邊　芳明氏

株式会社ゼロワンブースター
代表取締役
鈴木　規文氏

株式会社オンデザインパートナーズ
建築家
西田　司氏

株式会社　オープン・エー
代表取締役
馬場　正尊氏

コンデナスト・ジャパン
『WIRED』日本版編集長
松島　倫明氏

東京大学
生産技術研究所
松永　行子氏

東京大学
生産技術研究所　教授
野城　智也氏

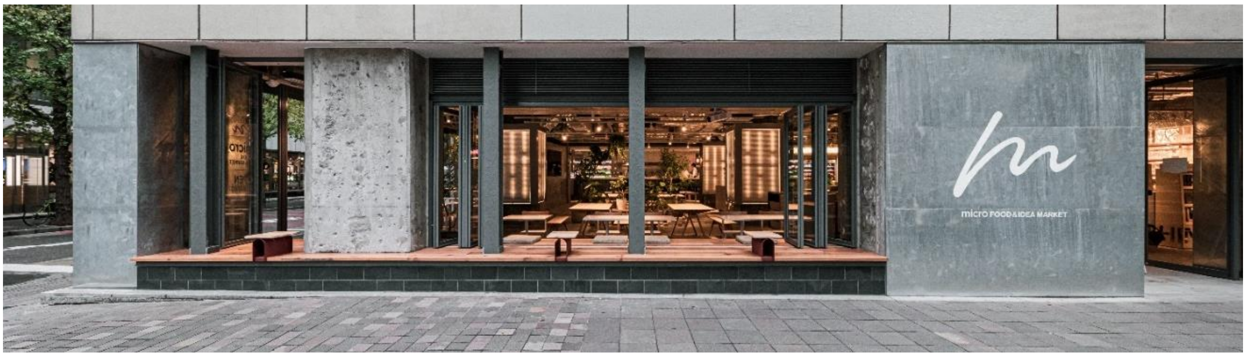
株式会社インターローカルパートナーズ
代表取締役
山本　桂司氏

■ 2. 有楽町「Micro STARs Dev.」活動の中心拠点について

① 有楽町「micro FOOD & IDEA MARKET」【2019 年 12 月 3 日（火）開業】

・「micro FOOD & IDEA MARKET」は、“好奇心が交差する市場”というコンセプトのもと、丸の内仲通り沿いという誰もが訪れることができる開かれた場所で、様々な人・アイディア・文化・食に出逢える多機能型市場です。
・ステージ、飲食提供を通じた“街の憩いの場”、物販・展示の 3 つの機能を持ち、これらをかけ合わせながら、まだ価値の定まりきらないモノ・コトを対外的に披露する実験的な取り組みを行います。
・複合型店舗として、全国各地の地域プロデュースを手掛ける株式会社インターローカルパートナーズ※2 が運営を行います。

micro FOOD&IDEA MARKET



【「micro FOOD & IDEA MARKET」の 3 つの機能について】

（1）ステージ機能
・多彩なイベントを実施できる音響・映像設備を備えたステージゾーン（約 180 ㎡）を設置。
・有楽町「Micro STARs Dev.」のプロデューサー陣の企画するイベントや、店舗を訪れた方がその場で気軽に参加できるイベントを中心に、偶発的な出逢いや気づきの空間を提供。

（2）飲食提供を通じた“街の憩いの場”としての機能
・新しい物流の仕組み「産地直送あいのり便※3」によって運ばれてきた日本各地の食材を中心に、デリ形式で気軽に味わえるメニューを提供。＊完全キャッシュレス&キャッシュオンでの提供。
・料理家／地域フードプロデューサー比嘉 康洋氏による micro な“菌”に着目したフードメニュー開発を行う。
（メニュー例）＊すべて税込
▶サラダ or 雑穀米＋3 種デリ＋スープ　1,300 円～
▶コーヒー380 円／クラフトビール 780 円～
・丸の内仲通り側に「縁側」を設置し、道行く人もふらりと気軽に立ち寄ることができる、街に開かれた空間を演出。

（3）物販・展示機能

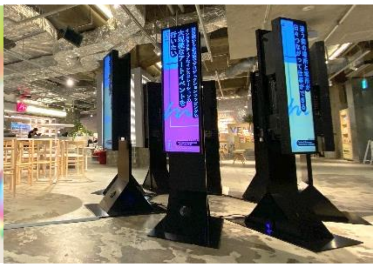
・TOKYO ART BOOK FAIR※4によるアートブック自動販売機、CAMPFIRE※5によるクラウドファンディング商品支援コーナー、離島の経済圏を作るリトラボによる micro island コーナー、世界が認める日本の技術とデザインを繋ぎ、新しい驚きに溢れた商品を手掛ける「TRINUS」によるデザイナーズプロダクトの販売など、micro なアイディア・物販が盛り沢山。

・商業店舗として、店舗経営情報の徹底的な見える化に取り組み、食材備品自動発注の仕組みの導入、店舗従業員の大入り給与制度の導入（開発中）など、株式会社 EBILAB※6との協業により、新しい商業店舗の在り方を追求していくほか、サービス業の働き方改革にもチャレンジ。

【オープニング企画の実施】

・「micro FOOD & IDEA MARKET」のオープンにあたり、「Micro STARs Dev.」を象徴する企画として、建築・アート・エンターテインメント等様々な分野で活躍する Rhizomatiks Architecture 齋藤精一氏がプロデュースするオープニングインスタレーション『Relationship Builder ver.01』を 2019 年 12 月 3 日（火）～2020 年 3 月 3 日（火）まで実施します。
・数々の都市の街づくりに参画している齋藤氏ならではの感性で、有楽町で働く人や滞在する人の micro なアイディアをデジタルにとどまらずアナログに表示することで顕在化し、そのアイディアや関係をつなぐための実験的な取り組みとして企画したものです。この街にいる人々が「Micro STARs Dev.」に参加するための仕掛けとしても機能します。
・「micro FOOD & IDEA MARKET」店内インスタレーションに加え、当社が所有または運営管理する有楽町エリアの各ビル共用部には、参加型インスタレーションを設置します。デジタルだけに頼らないリアルの場だからこそできる個と個をつなぐ仕組みを目指して、今後アイディアが集積する中で、実証実験としてバージョンアップしていきます。

＊インスタレーション設置ビル：「micro FOOD & IDEA MARKET」店内、有楽町ビル、新有楽町ビル、新東京ビル、新国際ビル、国際ビル



【Creative Direction & Planning 】
齋藤 精一（Rhizomatiks Architecture）
【Graphic】
吉田 貴紀 / 栗原 里菜 / 喜田 周作(BYTHREE inc.)
【Movie】
有友 賢治 / 河村 和也（TYO DINER）
加藤 貴大（EDP graphic works Co.,Ltd.）
藤井 意弘 / 田中 青都（BACKSLASH Ltd.）
長尾 洋輔

【「有楽町『micro FOOD & IDEA MARKET』」施設概要】

所　在　地：	東京都千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 1F
ア ク セ ス：	有楽町駅より徒歩 1 分
面　　　積：	約 464 ㎡（約 140 坪）
企　　　画：	三菱地所株式会社
運　　　営：	株式会社インターローカルパートナーズ
開　　　業：	2019 年 12 月 3 日（火）
営 業 時 間：	平日・土日祝 11:00～23:00 （フード 22:00L.O.／ドリンク 22:30L.O.） 定休日無し（但し、年末年始除く）
座　席　数：	85 席
ホームページ：	https://yurakucho-micro.com

② 有楽町「SAAI」Wonder Working Community【2019 年 12 月 4 日（水）会員募集開始】

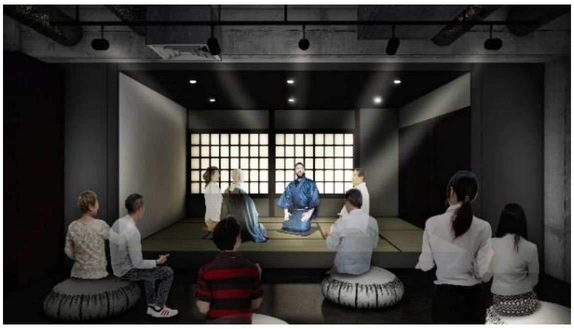
・本施設は、潜在的な異能・異才人材が集まり、相互に交流・刺激することで新しいアイディアが生まれて成長し、形になる仕組みを持った、単なる「ワークスペース」に留まらない「ワーキングコミュニティ」です。

・「SAAI」という名称は、彩（＝多種多様な人材）、才（＝異能・異才が集まる空間）、祭（＝会員同士が交流・刺激されるイベント）、斎（＝書斎のように集中できる空間）の意を込めた読み仮名“SAI”と、「差（= “SA”）」を「愛する（= “AI”）」という前述のコンセプトを体現する言葉の 2 つを組み合わせた造語です。

・当社では、これまでスタートアップ企業を対象としたインキュベーションオフィスを整備してまいりましたが、「SAAI」ではイントレプレナー（社内起業家）をメインターゲットとしています。勤務先に在籍しつつ何か新しいことに挑戦したい方、新規事業担当として自社内で模索している方など、既存の枠に捉われない「個」を育み、兼業・副業時代に個人が活躍できる拠点を目指します。

・「SAAI」の会員は有楽町「Micro STARs Dev.」でご紹介したプロデューサーに加え、各方面で活躍するクリエイター・アーティストなど多彩な人材との接点を持つことも可能なほか、他会員との交流を通じ、自らのアイディアを更に深めることができます。

・2020 年 1 月以降、施設オープンに先駆けて「SAAI」の世界観やプログラムを体感できるイベントを随時「micro FOOD & IDEA MARKET」等で開催予定です。



【「SAAI」の特徴】

（1）様々な事業支援プログラムや自己負担可能な価格設定の会員種別を提供

・国内有数のアクセラレーターであるゼロワンブースター※7 が施設運営を行い、会員のステージに合わせた様々な事業創造支援プログラムを提供します。

＜提供プログラムの例＞

- 01（ゼロワン）Pre（プレ）Dojo（ドージョー）…企業や新規事業に興味のある個人や企業の方々がアイディア出しやブラッシュアップを行い、起業や新規事業への理解を深めるプログラム。
- 01 Dojo（ゼロワンドージョー）………起業家・社内起業家やその候補が事業プランをブラッシュアップし、事業化のスタートラインまで引き上げるプログラム。
- 01（ゼロワン）Catapult（カタパルト）…起業家・社内起業家の事業化された事業を軌道に乗せ、成長させるプログラム。

・会員種別は個人の方が自らの負担で入会いただける価格設定（1 万円～）のラインナップ（固定席会員、フリー席会員、コミュニティ会員等）を用意しています。

（2）STUDIO システムの導入

・STUDIO は、ささいなアイディアをもとに形としてプロジェクト化していくことができるシステムです。STUDIO は、会員であればどなたでも 2 名以上（無料）で立ち上げることができます。会員は、設定したテーマを STUDIO メンバー同士で深堀し、設定テーマがプロジェクト化されるように、「SAAI」がそのサポートを積極的に行います。自ら STUDIO を立ち上げることも、共感する既存 STUDIO に後から一人で加わることも可能です。まずは「Micro STARs Dev.」プロデューサーを中心に第一弾 STUDIO を始動しますが、会員による自発的な STUDIO の立ち上げを促すため、活動費の一部（調査費等）を補填する仕組みも導入予定です。

＜第一弾として始動予定の STUDIO＞ ＊続々追加予定。

NO.	スタジオ名（仮称・順不同）	運営者（敬称略）	概要
1	Micro Factory スタジオ	umari：古田 秘馬	オリジナル商品の共同開発（第一弾：The 3rd Eye Chakra のバックパック）
2	ローカル編集者学校スタジオ	ソトコト：指出 一正	全国のローカル取材の裏話から その場所を学ぶ座学
3	WIRED 特区　有楽町 SAAI	WIRED：松島 倫明	雑誌特集テーマについて、ビジネス化すべく深堀を行う。
4	精進プロダクト製作スタジオ	なか道：青江 覚峰	精進プロダクトの共同開発
5	健康 DIY 研究所	東京大学 生産技術研究所： 松永 行子	健康×音楽を切り口とする 研究プロジェクト
6	ローカルスタートアップ スタジオ	インターローカル パートナーズ：山本 桂司	ローカルビジネスの座学や フィールドワーク
7	テレキューブコンテンツ 開発スタジオ	テレキューブ：間下 浩之 （協力：三菱地所）	テレキューブコンテンツの 共同開発プロジェクト

（3）人と人をつなぐコミュニティマネージャー「チーパパ&チーママ制度」を導入

・「SAAI」に集まった会員同士を有機的につなげるコミュニティマネージャー、それがチーパパ&チーママです。チーパパ&チーママは公募で選定し、拠点となる BAR や Kitchen にて会員同士の交流を促します。更にチーパパ&チーママは会員同士の交流促進に留まらず、イベントや STUDIO の活動にも積極的に介入するなど「Micro STARs Dev.」全体の運営にも関与しながら、会員に刺激を与え続けます。

（4）「SAAI」のアイディアを「micro FOOD & IDEA MARKET」で形として実験できる仕組み

・「SAAI」で生み出されたアイディアは、実際に「micro FOOD & IDEA MARKET」の場で形にして実験的に展開することができるため、トライ&エラーを繰り返す環境を提供しながら、将来の実装化を両施設の連携で生み出していきます。

【「有楽町『SAAI』Wonder Working Community」施設概要】

所　在　地： 東京都千代田区有楽町 1-12-1 新有楽町ビル 10F
ア ク セ ス： 有楽町駅より徒歩 1 分
面　　　積： 約 1,000 ㎡（約 303 坪）
企　　　画： 三菱地所株式会社
運　　　営： 株式会社ゼロワンブースター
会 員 募 集： 2019 年 12 月 4 日（水）開始
開　　　業： 2020 年 2 月中旬（予定）
会　　　費： 固定席会員　月額 60,000 円（税別）
フリー席会員　月額 25,000 円（税別）
コミュニティ会員　月額 10,000 円（税別）
ホームページ： https://yurakucho-saai.com

【注釈】

※1　丸の内朝大学：

大手町・丸の内・有楽町エリアをキャンパスとして、ビジネスパーソンが朝の 1 時間を活用し、学びや体験を通じて、生き方、働き方、遊び方を自分なりにデザインすることを目的に開講する市民大学。2009 年に開校以来、受講者数は述べ 2 万人を超える。

※2　株式会社インターローカルパートナーズ：

「micro FOOD & IDEA MARKET」運営者。日本全国の地域に根ざした新しい仕組みづくりのため、地域ビジネスにプロデュースという手法を取り入れ、全国各地の地域事業に関わっているローカルプロデュースカンパニー。業種や肩書き、地域の枠を超えた地域プロデューサー同士の繋がりにより、地域ビジネスを継続・発展させるための仕組みや事業スキームを確立し、全国各地で様々なプロジェクトに関わる。

※3　産地直送あいのり便：

全国農業協同組合中央会、農林中央金庫、三菱地所株式会社、一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会、株式会社アップクオリティの５者による、旅客用高速バスのトランクを利用した地域産品運搬の仕組み。
旅客用高速バスの貨客混載によって、配送ルートの確保がネックとなり県外へ出荷できていない希少品や伝統野菜、朝どれの野菜・水産物等、特色ある産品を丸の内エリアに定期搬送している。
都市生活者のニーズに応えながら、各地の地域産品の継続的な消費・購買、地域振興につなげる。2019 年 11 月現在、全国 42 地域 50 路線と連携中。

※4　TOKYO ART BOOK FAIR：

2009 年にスタートしたアート出版に特化した日本で初めてのブックフェア「TOKYO ART BOOK FAIR」を運営する団体。「TOKYO ART BOOK FAIR」は年に一度のペースで開催され，個性豊かなアートブック，カタログ，アーティストブック，そして ZINE などを出版するアーティストや出版社が一同に集結する場所として着実に成長し，アジアで最大規模のアートブックフェアとなっている。

※5　株式会社 CAMPFIRE：

あらゆるファイナンスニーズに応えるべく、"資金調達の民主化" をミッションに、個人やクリエイター、企業、NPO、大学、地方自治体など、様々な挑戦を後押しする国内最大のクラウドファンディング。2011 年のサービス開始から現在（2019 年 11 月 18 日時点）までに 27,000 件以上のプロジェクトを掲載し、支援者数は延べ 171 万人以上、流通金額は 154 億円に達する。

※6　株式会社 EBILAB：

AI/IoT/クラウド等の最先端の技術を活用して経営立て直しに成功した三重県伊勢市の老舗食堂「ゑびや」から生まれた最新技術の社会実装支援会社。商売の基本である「笑顔を売る人がもっと笑顔になれるように」の思想を下支えしサービス産業全体をアップデートすべく、来客数予測システム等を備えた店舗経営分析システム「TouchPoint BI」のサービス提供等を行っている。

※7　01Booster：

「SAAI」運営者。全世界 100 都市 70 を超えるアクセラレーターが加盟する～Global Accelerator Network の日本唯一のレギュラーメンバーである 01Booster は、「日本を事業創造できる国にして世界を変える」をミッションに、起業家支援、大手企業新規事業開発支援、投資を主な事業とする事業創造アクセラレーター。メンバーのほとんどが、大手企業での新規事業開発、スタートアップ起業そして EXIT（IPO や M&A）までを併せて経験しており、大手企業とスタートアップ企業双方の文化と行動様式を理解したうえで活動している。

以　上

＜本件に関する一般の方からのお問い合わせ先＞
「有楽町『micro FOOD & IDEA MARKET』」　TEL：03-6206-3196
「有楽町『SAAI』Wonder Working Community」（運営事務局）　TEL：03-6435-5360
（※～2020 年 1 月 31 日迄）